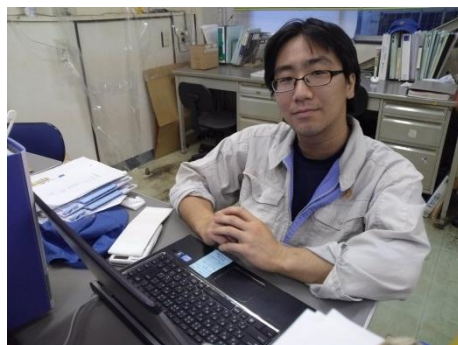


某化学材料会社  
総合研究所  
電池 Gr  
入井 友海太



私は化学材料会社の総合研究所で勤めています。研究所内にはいくつかのグループがあり、その中の一つである電池グループに所属しています。

研究内容は自分が松本研究室で行っていた内容と重なることが多々あり、学生時代で得られた研究の組立て方や知識、人脈といったものを割と早い段階で活かす事が出来ました。

### 【学生さんへ】

学生時代に身に着けた事の中で会社の仕事で役に立ったのは研究の組立て方です。学生さんの中で卒業研究を進めていく際に、先生、ポスドク、院生の方々に「この実験をやった方がいい」とアドバイスを受けることがあると思います。最初は言われた通りに実験を行うと思いますが、段々と「実験方法が正しいのかどうかの実験」、「仮説を証明するための実験」、「最適条件を見つけるための実験」等々、実験テーマに対して様々な角度からの実験が必要であることに自ら気付きます。しかし、必要な事柄ややりたい事があってもそれを実行に移すための知識や経験が無いことを思い知って、その知識を勉強したり、経験豊富な先生方や先輩に聞きにいった自分のやりたい実験を出来るようにする。新しく分かった事は自分の知識にして、新しく出てきた疑問は調べたり、実験で解消する。先生方のアドバイスを貰いながら、そのようなことを繰り返し行っているうちに自分で実験計画を立てられるようになります。研究を組立てる力があれば、「今なにが知りたいのか、それを知るために何をすればいいのか、確認方法はそれでいいのか、他の影響因子があるのか、最適なポイントは何処なのか、優先順位はなにか」といった様々な事柄を様々な角度から考えられるので、どんな会社でどんな仕事だろうが自分の力を十分に出せると思います。

### 【近況】

こんなことを書いていても、私はまだ社会人2年目で大学4年から数えると研究5年目。圧倒的に知識や経験が足りず、周りから教えて貰ったり、調べる事ばかりです。まだまだ未熟なのは日々痛感しているので、もっと自分の力をつけるために、神奈川大学工学研究所の特別研究員となって仕事の合間を縫って大学で研究させてもらっています。

松本研究室や工学研究所、物質生命化学科の研究室の皆様には今後もお世話になりますので、大学内で会うことがあったらよろしくお願いします。